

千代田区地球温暖化対策地域推進計画2015(素案)に対する意見概要及び区の考え方

番号	区分	項目	意見概要	考え方	同様意見数
1～11	在住	全般的事項	良く整理されいる。	ありがとうございます。今後の取組みの着実な推進に努めて参ります。	10
12～18	在住	全般的事項	多岐にわたりとてもよく考えられていると思う。決められた期間で効果を上げるためには、具体的な実行内容の決定がなかなか難しいと思うが頑張っていたきたい。	同上	6
19～39	在住	全般的事項	専門用語が多いため、用語解説があれば良いと思う。	用語解説を設けます。	20
40	在住	全般的事項	配色をもう少し工夫してほしい。例えば、6.5では、最上位の見出しである「基本方針」よりも「施策」の部分が目立ち、読みづらい印象を受けた。	配色を改善します。	0
41	在住	全般的事項	千代田区のCO ₂ 削減を図るうえでは、区民一人ひとりの取組や各事業所の役割が大きいことがわかった。緑化等によるカーボンオフセットの考え方にも大賛成である。科学技術の進歩は国に任せて、「身近にできる事を継続する」人作りが区役所の大切な役目だと思う。	ご意見の趣旨を踏まえ、取り組んで参ります。	0
42	在住	全般的事項	当たり障りない計画資料であり、無難な感じはするが、斬新な内容や奇抜な内容がないのは少々残念である。	本計画では、従来から行ってきた事業に加え、新たにZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の普及促進や(仮称)環境対策基金の創設等の先進的な取組を含む、総合的な地球温暖化対策を推進することとしています。	0
43～50	在住	全般的事項	いろいろな取組みがまとめられている点は良いが、素人が見てわかる資料の準備も必要と思う。	計画をまとめるにあたり、内容を要約した概要版を作成し、わかりやすい計画づくりに努めます。	7
51～54	在住	全般的事項	前段に必要なことの記載がいっぱいありすぎて、区民として一体何をすればいいのかわからなくなる。	同上	3

番号	区分	項目	意見概要	考え方	同様意見数
55	在住	全般的事項	同じような内容が繰り返し出てきたような気がして、最後まで読むのが大変。	同上	0
56 ~57	在住	全般的事項	具体的な施策は素晴らしいと思う。あとは、みんなにしっかり周知し、区民みんなが実行していくことが大事だと思う。	同上	1
58	在住	全般的事項	千代田区が都内唯一の環境モデル都市だとは全く知らなかった。素案は素晴らしい内容だが、これを区民や在勤者に知らせていない方が問題だと思う。	同上	0
59	在住	全般的事項	詳しく丁寧に書かれており、熱心な取組が伝わる。しかし、ページ数が多すぎて、最後まで読む区民が何人いるだろうか。一般向けの素案、専門家向けの素案などに分ける方法も検討できる。	同上	0
60	在住	全般的事項	素案の前に出したであろう”たたき台”学経も入れた検討委員会の報告書等を読みたい。時間がなく区民目線に立った計画になってないのでは。	計画の改定について検討を行った千代田区地球温暖化対策推進懇談会の資料及び議事要旨は、千代田区ホームページですべて公開しておりますので、ご参照ください。 ≪千代田区地球温暖化対策推進懇談会≫ホームページ http://www.city.chiyoda.lg.jp/koho/machizukuri/kankyoo/ondanka/kondankai/index.html	0
61	団体	全般的事項	大都市の国際競争力および都市防災機能の強化の観点から、日本の経済活動を支える業務ビル等の供給や都市再生に悪影響を及ぼすことのないよう、国および東京都の施策との整合性を確保して、過度な規制水準とならないよう配慮願いたい。 制度設計にあたっては、事業者も参加した検討の場を設けるなど、事業者側の意見も十分に尊重していただきたい。	ご意見の趣旨を踏まえ、取り組んで参ります。	0
62	団体	全般的事項	千代田区は、日本の中央省庁や有力企業が集積し、11大学が立地、電気街など様々な産業クラスターが集積している。千代田区の役割である都市活動そのものを抑制するような政策を事業者に過大な低炭素を課すような施策を実行すべきでなく、都市活動と環境活動の両立という理念を最上位に置いていただきたい。	同上	0
63 ~64	団体	全般的事項	低炭素目標を達成するためには、千代田区だけで対応するのでは、政策・制度、支援策に無理や歪が生じることと思われるので、是非とも東京都や国と整合を取っていただきたい。また、「(仮称)環境事前協議制度」については、東京都環境局の建築物環境計画書制度との重複が無いよう、運用をしていただきたい。	同上	1

番号	区分	項目	意見概要	考え方	同様意見数
65	在住	全般的事項	千代田区という小さい主体でここまで労力をかけて真剣に考えても全体としての効果はどうかと思う。そもそも米国とか中国とかCO ₂ を排出し放題の国があるなかで、ちまちまと施策を実施しても効果が疑われる。さらにそもそも論として本当に地球温暖化とCO ₂ を真剣に考えるべきことなのか、単に地球温暖化ビジネスに踊らされているだけではないのか、という根本のところもきっちり評価してほしい。	本計画は、地球温暖化対策の推進に関する法律(平成10年10月)に基づいて策定しております。このため、区から排出されるエネルギー起源のCO ₂ 排出量の抑制および区全体の地球温暖化対策の総合的かつ計画的な推進を図ることを目的としています。	0
66	在住	全般的事項	地球温暖化説を信じていない区民もいるなか、これまでの取組結果と今後の目標について、二酸化炭素の削減量だけでなく、具体的に何度の温度抑制効果があるのかを示していただきたい。	同上	0
67	在住	全般的事項	千代田区の計画としては、思い切って業務部門に特化した内容でも良いのでは。	ご指摘のように、本区では業務部門からのCO ₂ 排出量が大部分を占めます。しかし、地球温暖化対策は事業者だけでなく、区民一人ひとりの意識向上と行動実践も同時に求められることから、本計画では区民(在勤・在学者、来訪者を含む)、区内に立地する事業者等を対象としています。	0
68	在勤	全般的事項	今般の計画策定プロセスは、関係者の拡がりや影響を考えると、計画素案に示された内容を実現する道筋の明示が不十分であり、パブリックコメントを求める方法・期間があまりにも限定的である。当然ながら計画に基づく具体の施策(事前協議制度、促進地域指定、基金等)の整備・運用の前に、十分にその影響を被る関係者と対話し、合意形成を得ていただくことを前提とすべきであるが、本計画に関しては事業者に過大な努力・負担が生じる懸念があるので、特に対話し・合意形成を徹底すべきと考える。	本計画の改定に対する重要性はご指摘のとおりであり、その点に鑑み、「千代田区意見公募手続要綱」に基づき、意見公募(パブリックコメント)を実施させていただきました。ご指摘の施策の制度設計においては、区民や事業者等のご意見をうかがいながら検討して参ります。	0

番号	区分	項目	意見概要	考え方	同様意見数
69	在勤	全般的事項	<p>行政施設の低炭素化・ZEB化や創エネ、森林整備事業や排出枠の確保等によるカーボンオフセットによる埋め合わせ施策等、行政としての施策費用の原資は税である。象徴的な事業であっても、その費用と効果についてはしっかり検証し、説明責任を果たすことが求められる。</p> <p>区内の事業者は既に相当額の納税をしている。そこから行政が計画実現に必要な資金を確保することは理解ができるが、新たに事業者の費用負担が生ずる施策をとることのないようにすべきである。</p> <p>事業者に対し、現状のテクノロジーや事業性を越えた、過大な低炭素化やコスト負担を求めることのないようにする必要がある。万が一にも求めるのであれば、それを補う施策(減税制度、あるいは支援制度等)を区が責任を持って整えていくことが必須である。</p> <p>特に、低炭素のトップランナー的な事業を推進することはあっても、目標数値を意識して事前の各種協議において、エネルギー効率の高い優良プロジェクトに過大な負荷(環境性能の引き上げ、基金への拠出等)を求めることが無いことを担保していただきたい。</p> <p>むしろ、低エネルギー効率で運営する事業・施設のボトムアップにこそ行政は注力する必要があると考える。テナントビルでは規模が大きくなる方が原単位上、CO₂ 排出抑制に有利な傾向にある(建築物のCO₂ 排出に関する環境情報活用マニュアル(試行版)2012年5月、東京都)。また、高いエネルギー効率でビルを運営するためには、先進の機器・システムの導入やノウハウを伴う人材による施設運営も欠かせないと言われており、そうした取り組みを行う観点からも、中小施設ビルを集約し、エネルギー効率の面で規模のメリットを発揮する一定規模へのビルへ生まれ変わらせることは効果的と考える。そのためには単なる誘導施策メニューを用意するだけでなく、事業者・権利者への能動的な働き掛け、事業・経営コンサルティングまで計画策定者が行う必要があると考える。</p>	ご意見の趣旨を踏まえ、取り組んで参ります。	0
70～72	在住	全般的事項	<p>次の3点を追加してほしい。</p> <p>計画の策定経過を項番として入れる。</p> <p>検討にあたっての体制(庁内体制、区民検討体制)を入れる。</p> <p>区民活動団体との検討経緯を入れる。</p>	「千代田区地球温暖化対策推進懇談会」の委員名簿及や開催経過等を記載します。	2
73	在住	全般的事項	<p>元々地球温暖化がよくわからないのでCO₂削減と言われてもピンとこない。あれだけTVで放送されていた地球温暖化のことを誰も言わなくなつて、なんだか今更という思いがある。</p> <p>CO₂削減というより、節電というイメージ。節電なら協力できる。</p>	引き続き、節電のご協力とともにCO ₂ 削減の取組にもご理解とご協力をお願いいたします。	0
74	在住	1.1.1 地球温暖化の現状	今地球上で起こっている事を具体的に記してあると良いと思う。	改定の際の参考とさせていただきます。	0
75	在住	1.3 前計画の評価	前計画の評価が少ないと思う。実施結果をうけ、今後どうすべきであるのかをもっと記載した方が良い。	同上	0

番号	区分	項目	意見概要	考え方	同様意見数
76	在住	1.3 前計画の評価 1.3.2 温室効果ガスの対策目標達成状況の評価	前計画の短期の対策目標の達成状況で達成しているが、どのような対策で達成したのかわからなかった。	家庭部門および業務部門ともに、環境配慮行動や建物のエネルギー対策等が進展し、エネルギー消費量の削減が着実に進んだことが、短期目標達成の主な要因と考えています。	0
77	在住	2.5 電力排出係数の扱い	電力排出係数について1990年時点の排出係数に固定して説明するという考えに至った背景がよくわからない。電源の実態を他人事のように捉え、排出係数問題を固定化してしまうロジックがしっくりこない。	本計画では、区民や事業者が行う対策の効果を適正に捉え、計画で掲げる対策目標の達成状況を正しく評価するため、電力排出係数を条例の起点である1990年度に固定した係数で、対策目標のを評価して参ります。また、実態把握の観点から、当該年度排出係数も参考値として取り扱います。	0
78	在住	2.5 電力排出係数の扱い	排出係数について、活動の効果測定のため固定値で計算しているのは理解できるが、実態としては最近の値(原子力発電無し)を使用する必要があるのではないか。	同上	0
79 ~80	在住	4 地球温暖化対策に関する千代田区の課題 ①区民の温暖化配慮行動における課題	「ガマン」をカタカナ表記にしているのは、何か特別な意図があるのか。	我慢型対策という従来固有の方法の意を強調するため、カタカナ表記としていました。 不快であるとのこと指摘もあったため、「我慢」に修正します。	1
81	在住	5.1.1 目指す将来像	CO ₂ のオフセットが意味あることなのかわからない。	カーボン・オフセットの意義や取組の前提に関する記述が少なかったことから、本編中の必要箇所に追記するとともに用語解説を掲載します。	0
82	団体	5.1.1 目指す将来像	将来像実現に向けて千代田区が導入する主な取り組みの一つである「カーボン・オフセット」について、オフセットが事業活動の負担増加とならないようにしていただきたい。	区で検討しているオフセットについては、基本的に事業者への負担増にならないものですが、カーボン・オフセットの取組に関する記述が少なかったことから、本編中の必要箇所に追記するとともに用語解説を掲載します。	0

番号	区分	項目	意見概要	考え方	同様意見数
83	在住	5.1.1 目指す将来像	グラフ内に数値が入っていないのはなぜか。	図5-1は目指す将来像である「エネルギー利用によるCO ₂ 排出ゼロのまち」の達成に向けた考え方を区民や事業者等と共有するために作成したイメージです。 イメージ中の高さや面積はあくまでも理解を助ける目安としてご理解ください。	0
84	在住	5.1.1 目指す将来像	CO ₂ 排出ゼロは可能か。	本計画では、区内でのエネルギー消費量の削減に加えて、創エネルギーの普及や区内排出量のオフセットなど、あらゆる対策を講じることで、CO ₂ 収支を可能な限りゼロに近づけることを目指します。	0
85	在勤	5.2.1 対策目標	本計画は2024年度までを計画期間としているので、それ以降の長期については計画の将来像(エネルギー利用によるCO ₂ 排出ゼロ)や対策目標(2050年度までにエネルギー起源CO ₂ 排出量▲80%)とせず、参考扱いとすることが適当である。	地球温暖化対策は長期にわたって継続した取組が求められることから、千代田区としての将来像を見据えたなかで、その実現に向けた対策を推進する視点を持つことも重要と考えています。また、長期目標については、国の環境基本計画を参考としながら、計画の将来像を見据えた上での数値です。 地域推進計画の推進にあたっては、総合的に各施策等に取り組みながらCO ₂ の削減に努めるとともに、その効果を検証し、見直しをして参ります。	0
86	団体	5.2.1 対策目標	短期対策目標である「2024年度までにCO ₂ 排出量を30%削減」、および長期対策目標である「2050年度までにCO ₂ 排出量を80%削減」は過大であり、今検討が行われている国の施策等との整合性が取れた水準に改めていただきたい。	同上	0
87	団体	5.2.1 対策目標	1990年度を基準として、2024(平成32)年度までに30%削減、2050(平成62)年度までに80%削減としていることは、過大な数字である。	同上	0
88	在住	5.2.1 対策目標	計画自体はとても良いと思うが、長期の対策目標はやや無理があると思う。現時点でできないことを次世代に任せてしまうのは良くないと思う。80%→50%程度にするのが妥当だと思う。	同上	0
89	在勤	5.2.1 対策目標	2050年の対策目標の達成は厳しいと考える。達成のための鍵は環境教育であると思う。学校教育の現状を踏まえると、これ以上の施策の実施も難しい面があるが、素案の環境教育に係る内容では弱いように見受けられる。	ご意見の趣旨を踏まえ、取り組んで参ります。	0

番号	区分	項目	意見概要	考え方	同様意見数
90	団体	5.2.1 対策目標	区が独自に削減目標を設定することは、慎重に検討願いたい。	本計画の改定にあたり、学識経験者を含む区民等で構成された千代田区地球温暖化対策推進懇談会を開催し、国の動向も加味しつつ、千代田区が本計画で目指すべき対策目標や取組について、検討を行って参りました。 なお、懇談会の資料及び議事要旨は、千代田区ホームページですべて公開しておりますので、ご参照ください。 《千代田区地球温暖化対策推進懇談会》ホームページ http://www.city.chiyoda.lg.jp/koho/machizukuri/kankyo/ondanka/kondankai/index.html	0
91	在住	5.2.1 対策目標	条例上の対策目標である、「2020年度までに、区内のエネルギー起源CO ₂ 排出量を1990年度比で25%削減する」という目標は厳しすぎると思う。	2020年度までの対策目標は、千代田区地球温暖化対策条例で位置づけられています。 対策目標達成に向けて、計画的に各取組を推進して参ります。	0
92	在勤	5.2.2 対策目標の達成に向けたCO ₂ 削減のロードマップ	対策目標が達成できるかどうかは、将来の事務所ビルのZEB導入率によっても大きな影響を受けると思料するが、ビル建て替え時のZEB化が22頁脚注にあるような予想の通りに進行するのかが気になる。	区内の事務所ビルのZEB化の見通しは、同脚注の注1及び注2のように、建築物の平均的な建替割合(40年)と、国のエネルギー基本計画に基づく国全体での目標(2030年に平均でZEB化)に即して算定したものです。計画を着実に推進し、区内におけるZEB化の促進に努めてまいります。	0
93	在勤	5.2.2 対策目標の達成に向けたCO ₂ 削減のロードマップ	対策目標の達成に向けた削減見込みについて、具体的な取組とその削減見積を詳しく示すとともに、計画推進時には各取組の達成状況を可能な限り確認しながら進めるのが効果的である。	ご意見の趣旨を踏まえ、取り組んで参ります。	0
94	団体	5.2.2 対策目標の達成に向けたCO ₂ 削減のロードマップ	現在、低層5階建て程度の規模ではZEBの実例があるが、中高層・大規模建築物においてはZEBの導入実例が無く、達成は極めて困難であると考えます。	区内の既設ビルの大半が中小テナントビルであるという実態をふまえ、ZEBについては、区内の大半を占める中小ビルへの導入について積極的に検討しています。	0
95	団体	5.2.2 対策目標の達成に向けたCO ₂ 削減のロードマップ	長期目標としている、「2050年度までにCO ₂ 排出量80%削減」は、2011年4月、国の「第四次環境基本計画」にて示されているものの、COP21に向けて新たな温室効果ガス削減目標が2012年11月、環境省より発表された。日本政府は従来、国連気候変動枠組条約事務局に登録していた「2020年度までに25%削減」を撤回し、「2020年度までに3.8%削減(2005年度比)」に登録している。こうした状況下、千代田区で掲げる目標値について、その達成への現実的な道筋を明示していただきたい。	地域推進計画2015(素案)22ページで示したロードマップは、建物のZEB化や設備機器類の省エネ化について、CO ₂ 削減の方向性をマクロ的に示したものです。 CO ₂ 削減の具体的な積算は、技術革新の部分も含め、今後の取組みの中で行っていきます。	0

番号	区分	項目	意見概要	考え方	同様意見数
96	在住	5.2.2 対策目標の達成に向けたCO2削減のロードマップ	2012年実績では1990年比で業務部門の排出量が増えている。にもかかわらず2020年度に減らせるとする施策の実現性に疑問を感じる。また、東京国際フォーラムでウエイトリフティング競技を行うためにフォーラムを改修する等、東京オリンピックに係る開発も少なからずあると思うが、その開発に係る排出量の概算が含まれていないのではないか。	業務部門の排出量が今後も増大し続けることは一定の仮説のもとで想定しています。その想定をふまえ、本計画の目標達成のため、ZEBの導入促進やグリーンストック作戦をはじめとする業務部門対策について、着実な推進に努めて参ります。	0
97	在勤	5.2.2 対策目標の達成に向けたCO2削減のロードマップ	具体的かつ現実的な目標達成根拠がない中で数値目標が定まると、その実現はおぼつかないものであるし、最終的に、数値目標を達成するためには都市活動の抑制という選択しか残らなくなってしまうことを懸念する。 現行の財源で達成できる行政体の数値目標を定めることと、市民・事業者負担がかかる数値目標を定めることは同じではない。後者の場合、その数値や根拠を外部に依るものではなく、自らの十分な検証の上で行う必要がある。 例えば、2020年で「ZEBの導入促進▲18.2万トン」、グリーンストック作戦など▲40.6万トン」とあるが、その道筋(ロードマップ)の根拠は達成を見込めるものとは考えにくいものである。2020年まで後5年しかなく、大型新築ビルの場合、計画から工事完成までを考えると、現時点で計画がスタートしているものでないと2020年に完成をみないものと思われる。外部計画を参照し、2024年時点でのZEB導入が半数程度という楽観的な設定も理解できない。上述の目標数値に達する道筋が理解できないことも起因して、それを実現させるための施策、取り組みにも賛同しかねるため、現実的な根拠をもつロードマップをお示しいただきたい。	千代田区は、国の政治、経済活動の中心地として発展してきました。今後も、経済発展と環境が調和したまちをめざし、地球温暖化対策に取り組んでいきます。 地域推進計画2015(素案)22ページで示したロードマップは、建物のZEB化や設備機器の省エネ化等、CO ₂ 削減の方向性をマクロ的に示したものです。 CO ₂ 削減の具体的な積算は、技術革新の部分も含め、今後の取組みの中で行っていきます。	0
98	団体	6 基本方針と施策	低炭素化の推進にはエネルギー効率の向上が欠かせない。については、エネルギー効率を高める事業(改築、リノベーション等)の促進施策をとっていただきたい。また、ZEB化へは相当なコストを要するため、支援制度の充実等を一層進めていただきたい。	ご意見の趣旨を踏まえ、取り組んで参ります。	0
99	在住	6 基本方針と施策	千代田区は業務用のビルが増加して、コンピュータのサーバも増え続けているので、削減が難しくなることはあるが、諦めずに実行して行くことも必要だと思う。	同上	0
100	在住	6 基本方針と施策	千代田区には皇居という大都市では考えられない規模の緑がある。それを有効に使う策をもっと取り入れたらいいと思う。	同上	0
101	在住	6 基本方針と施策	企業にどのように排出を抑制するのか具体案を出してくれるとよかった。	企業のCO ₂ 排出量を抑制するための具体策については、「7区民・事業者の地球温暖化対策を促進するための指針」に記載しましたので、ご参考にして下さい。	0

番号	区分	項目	意見概要	考え方	同様意見数
102	在住	6 基本方針と施策	目新しさに欠ける。東京オリンピック開催前後に、環境モデル地域としてしっかり世界にアピールできるような先進的な取り組みを目指すべきであるし、それをできるのは、民度が高く、且つ、財政的に安定している千代田区だけだと思う。	ありがとうございます。今後の取り組みの着実な推進に努めて参ります。	0
103	在住	6 基本方針と施策	区内の多くの街路樹が抜かれたり枯れたまま放置されている。基本的な日常行政を怠ったまま対策にエネルギーを使っており税金の無駄である。公共交通のバリアフリー化も怠ったまま車の利用を減らさせるというのは空論。こんなことではヒートアイランドと温暖化の悪循環は変わらない。	まちづくりや福祉分野とも連携し、本計画とその他の行政施策の着実な推進に努めて参ります。	0
104	在住	6 基本方針と施策	各事業の実施スケジュールが示してあると、なお分かりやすいと思う。	区の施策のうち、特に重点的に取り組む9つの事業について、計画期間における具体的な実施スケジュールを明らかにしています。今後、本計画の着実な推進に努めて参ります。	0
105	在勤	6 基本方針と施策	現在の技術レベル、都心立地において、現地でのゼロ・エミッションを目指すのは相当の無理がある。それよりも、スマートなエネルギー使用、スマートライフ、スマートレジデンス、スマートビルの普及に力点を置かれる方が実効性を伴うと思われる。	ご意見の趣旨を踏まえ、取り組んで参ります。	0
106	在勤	6 基本方針と施策	現時点のテクノロジーではエネルギー効率80%減、ましてやネットZEBビルを都心で期待することは現実的ではないが、速やかにエネルギー効率が高いビルへと改築・リノベーションを行うことは、CO ₂ 累積量の抑制に寄与し、地球温暖化対策上は効果が高いものである。一方、低エネルギー効率で運営される事業・施設も多く存し、これら都市活動量に対してCO ₂ 排出が大きい傾向にあるこれら事業・施設をボトムアップする必要がある。こうした実態を的確に捉え、高エネルギー効率を実現する優良な事業を推進する等の適切な施策を推進していただきたい。	同上	0
107	在勤	6 基本方針と施策	CO ₂ 排出量＝活動量 × エネルギー消費原単位 × CO ₂ 排出原単位とされている。千代田区は都市活動の舞台としての役割と責任を有し、またCO ₂ 排出原単位の低減が見込めない(ため、計画では固定値を採用する)中、エネルギー消費原単位、即ち、エネルギー効率の向上が必要不可欠かつ現実的な対策と考える。そのため、政策や具体の施策においては、大規模・中規模・小規模といった事業規模ではなく、エネルギー効率の観点から制度設計し、一つ一つのボトムアップの実績を積み上げるべきである。	同上	0
108	在住	6.1 基本方針	計画のPDCAを機能させるためには、計画の進捗状況に関する情報共有が重要と思うが、情報共有の重要性を読むことが出来る箇所はあるか。	本計画の実効性をあげるためには、基本方針7(地球温暖化対策に「力を合わせる」)に基づき、区民や事業者等との連携を一層深める必要があると考えております。本計画の推進においては、推進体制(p69)のとおり、千代田区地球温暖化対策推進懇談会と連携し、区民や事業者等と情報共有を図りながら、計画の進捗管理を行って参ります。	0

番号	区分	項目	意見概要	考え方	同様意見数
109	在住	6.1 基本方針	基本方針4は「スマートに使う」でなく、「賢く使う」が良いのでは。	エネルギー起源のCO ₂ 削減対策において、「スマート」という用語は今後ますます社会に浸透することが予想されることから、本計画では区民や事業者等への啓発の意も込めてあえて「スマートに使う」と表現しましたので、ご理解願います。	0
110	在住	6.2 施策の体系 6.3 重点的に取り組む事業	「6.2 施策の体系」と「6.3 重点的に取り組む事業」との関連がわからない。 「6.3 重点的に取り組む事業」は、「6.4 取組みの内容」や「7 区民・事業者の地球温暖化対策を促進するための指針」に移すべき。	重点的に取り組む事業は、基本方針に基づく施策のもとで展開する具体的な事業のうち、重点的に取り組む9つの事業を指します。 ご指摘のように、施策体系と重点的に取り組む事業との関係に関する記載が少なかったため、「6.2 施策の体系」に追記します。	0
111 ~112	団体	6.3 重点的に取り組む事業	主な取組みとして「(仮称)環境事前協議制度の創設」「温暖化対策促進地域の指定制度の構築・運用」「拠点開発における面的エネルギー利用の導入促進」「(仮称)環境対策基金の創設」等が掲げられているが、具体的な制度の協議や指定にあたっては、制度化や運用に至る前段階で事業者・地域との合意を得て進めていただきたい。	ご意見の趣旨を踏まえ、取り組んで参ります。	1
113	在勤	6.3 重点的に取り組む事業 主要事業1 (仮称)環境事前協議制度の創設	既存の協議制度や都の制度との重複が無いように、また「時間も事業上のコスト」であることを十分認識して制度設計をすべきである。 改築・リノベーション等の中でエネルギー効率を高める取組みは低炭素施策に寄与する。更新を行わない施設、DHC等面的対策を採用していない施設等、低エネルギー効率な事業形態が課題である。一方、主な取組みの一番に挙げられている事前協議制度は新築事業を対象とお考えであり、カ点の置き方・協議対象の見直しが必要と考える。	業務系ビルが集積する本区においては、ご指摘のように、新築ビルだけでなく既築ビルを含む建築物全体のエネルギー効率向上が課題と考えています。	0
114	団体	6.3 重点的に取り組む事業 主要事業1 (仮称)環境事前協議制度の創設	建築物の新築等を行う事業者に過度な負担を課すことのないよう再考願いたい。	既存の環境評価制度である「千代田区建築物環境計画書制度」を見直し、制度構築を検討します。 制度内容については、今後区民、事業者等のご意見をうかがいながら、検討して参ります。	0
115	在勤	6.3 重点的に取り組む事業 主要事業2 コミュニティサイクルの推進	区内に設置したサイクルポートであればどこでも貸出・返却ができるとある。今後可能であれば、千代田区だけではなくもう少し広いエリア(例えば東京都内など)での貸出・返却が自由にできれば利便性も高まりユーザが増えるのではないかと思う。他の自治体との連携を検討する旨に書かれているので、期待している。	ありがとうございます。今後の取組みの着実な推進に努めて参ります。	0
116	在住	6.3 重点的に取り組む事業 主要事業2 コミュニティサイクルの推進 および 6.4 取組みの内容 1-3 地域交通の低炭素化の推進	同じ写真が何回かでてきて、既に読んだ場所をまた読んでいる感じがした。	コミュニティサイクルの写真を二回使っていたのが読みにくさの原因でした。 ご指摘を踏まえ、別の写真に差し替えます。	0

番号	区分	項目	意見概要	考え方	同様意見数
117	在住	6.3 重点的に取り組む事業 主要事業4 地方との連携による森林整備事業	カーボンオフセットはそれなりの大きさを占めているという印象を受けるが、主要事業4で示されている高山市と孺恋村の2箇所だけでは足りないため、さらに他の自治体や企業・大学との連携も視野に入れてはいかかか。	ご意見の趣旨を踏まえ、取り組んで参ります。	0
118	在勤	6.3 重点的に取り組む事業 主要事業5 ネット・ゼロ・エネルギー・ビル(ZEB)モデル施設の設置	千代田区は業務部門の活動量が大きくそれに伴いCO ₂ 排出量も多く、その中で事務所ビルからの排出が約8割を占めているなどの統計から、ZEB導入への期待が高いことが理解できる。	ご指摘のとおりです。	0
119	在勤	6.3 重点的に取り組む事業 主要事業5 ネット・ゼロ・エネルギー・ビル(ZEB)モデル施設の設置	ZEBのモデル施設は2018年開設予定とのことだが、できるだけ早く開設し、ゼロエネルギーの実現性やコストメリットなどの成果を情報発信すべきである。	ご意見の趣旨を踏まえ、取り組んで参ります。	0
120	在勤	6.3 重点的に取り組む事業 主要事業5 ネット・ゼロ・エネルギー・ビル(ZEB)モデル施設の設置	ネットZEB モデル施設の設置においては、一般化できるよう、机上シミュレーションではなく実社会で再現可能とすることを前提に取り組んでいただきたい。例とされている「ちよだエコセンター」は設計1年、工期1年で完成するとされているが、これは汎用モデルにはなりえない。 恵まれた条件ばかりが重なるケースや、容積率を消化しない等資産価値や経営資源を毀損するケース、施設の使い勝手を無視したケース(ZEBを標榜する一部施設には窓面を太陽光パネルで覆い尽くす施設もある)では意味がない。街並みの調和も踏まえた施設とする必要もある。 ましてや、事業・経営を度外視した検証では議論をミスリードしてしまう。 ZEB 化を行ったがための固定資産税の増加、ZEB 化のための投下資金の金利負担や、資金活用で得られたであろう利益の逸失等をきちんと評価指標に加え、事業性の観点からも慎重に検証する必要があると考える。 低層・中層の施設のみならず、現実的には、区内の行政施設や教育施設、事務所、住宅も高層施設が多くあるので、そうしたケースでも事業成立するかを検証し、事業成立させるための金融支援等の整備を伴うモデルを構築することが肝要と考える。	ZEBモデル施設の設置については、その取組や運用状況等を内外に発信することで、区内テナントビル等の低炭素化を促進することをめざしています。 モデル施設の整備にあたっては、区内のZEB普及に必要な促進策の検討も併せて、進めて参ります。	0

番号	区分	項目	意見概要	考え方	同様意見数
121	在勤	6.3 重点的に取り組む事業 主要事業5 ネット・ゼロ・エネルギー・ビル(ZEB)モデル施設の設置	ZEB導入に対するインセンティブ付与についても具体的に検討することが必要である。	ご意見の趣旨を踏まえ、取り組んで参ります。	0
122	在勤	6.3 重点的に取り組む事業 主要事業6 温暖化対策促進地域の指定制度の構築・運用	条例や計画に示す高い目標は、区全域が日本・東京都のなかで促進地域であることを意味しており、その中で改めて地域指定する理由がわからない。 仮に低炭素対策の時間軸としての優先度合から地域指定を行うならば、地域冷暖房の導入もなく、エネルギー効率が低い建物が集積している地域こそ、その必要があると考える。また、地域指定には、当該地域の合意を得ること、またそこでは事業者の過負担なくZEB が実現できる革新的・実効的な政策・施策の裏打ちが必須と考える。	地球温暖化対策促進地域は、千代田区地球温暖化対策条例第18条において、指定することを予定しているものです。 なお、具体的な地域指定にあたっては、地区別のエネルギー特性を考慮し、関係者と協議しながら検討して参ります。	0
123	在住	6.3 重点的に取り組む事業 主要事業8 (仮称)ちよだエコセンターの開設	このような施設の開設を望んでいたもので、期待している。	ありがとうございます。今後の取組みの着実な推進に努めて参ります。	0
124	在住	6.3 重点的に取り組む事業 主要事業8 (仮称)ちよだエコセンターの開設	千代田区のエコセンターの活動をもっと具体的に知りたいのでPRしてほしい。	ご意見の趣旨を踏まえ、取り組んで参ります。	0
125	在住	6.3 重点的に取り組む事業 主要事業8 (仮称)ちよだエコセンターの開設	(仮称)ちよだエコセンターは本当に必要なのだろうか。ただの箱物をつくるだけでは意味が無いのではないかと思った。	ご指摘を踏まえ、効果的な運用に留意した施設整備の検討を行って参ります。	0
126	在勤	6.3 重点的に取り組む事業 主要事業8 (仮称)ちよだエコセンターの開設	2018年開設となっているが、既存の施設を使つての早期開設は図れないか。 開設時の人材確保も必要であり、CES推進協議会の環境講座等と連携を強めていくことが必要である。	ご意見の趣旨を踏まえ、取り組んで参ります。	0
127 ~ 128	在勤 団体	6.3 重点的に取り組む事業 主要事業9 (仮称)環境対策基金の創設	環境対策基金の性格やボリューム、またその原資が不明で賛同いたしかねる。基金創設に際しては、低炭素化に取り組む市民・事業者に必要な負担が発生しないよう、慎重に検討し、誰もが納得できるものとする必要がある。	同上	1
129	団体	6.3 重点的に取り組む事業 主要事業9 (仮称)環境対策基金の創設	一定の建築行為等を行う者に対して負担を課すことのないようにしていただきたい。また、区民や事業者からの寄附のみで運用するとしても、事実上事業者による基金の負担を強制することのないようにしていただきたい。	同上	0

番号	区分	項目	意見概要	考え方	同様意見数
130	団体	6.3 重点的に取り組む事業 主要事業9 (仮称)環境対策 基金の創設	許認可権を背景に事業者に基金の負担を求めることが無いよう、運用をしていただきたい。	同上	0
131	在住	6.3 重点的に取り組む事業 主要事業9 (仮称)環境対策 基金の創設	(仮称)環境対策基金で何をするのかわからなかった。	(仮称)環境対策基金は、本計画の推進に必要な原資として活用します。	0
132	在住	6.3 重点的に取り組む事業 主要事業9 (仮称)環境対策 基金の創設	(仮称)ちよだエコセンターを作るなどした上に、まだ(仮称)環境対策基金の創設は必要か。必要な地球温暖化対策に必要な費用を捻出するのは駄目なのか。	同上	0
133	在住	6.4 取組みの内容 コラム3 ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)とは	国の「エネルギー基本計画」にある、「2030までに新築建築物の平均でZEBを実現」とはどのような意味か。	エネルギー収支がマイナスになるものや、プラスになるものがある中、新築建築物全体としてZEB化を目指すという意味です。 詳細は、下記アドレスを参照ください。 資源エネルギー庁ホームページ(http://www.enecho.meti.go.jp/)	0
134	在住	6.4 取組みの内容 3-1 清掃工場の排熱から発電した電気の活用	区内に清掃工場は存在しないため、他区の清掃工場で作った電気を利用するという意味でよろしいか。	ご指摘のとおりです。	0
135	在住	6.4 取組みの内容 3-1 清掃工場の排熱から発電した電気の活用	環境フェスタなど、区内の環境イベントで利用する電力をグリーン電力で賄うのはいかがか。	環境イベント時におけるグリーン電力の導入については、2011年に実施しています。今後も環境イベント時のグリーン電力使用を検討していきます。	0
136	事業者	6.4 取組みの内容 2-1 再生可能エネルギーの導入促進	素案28ページ注釈中にある、再生可能エネルギーの定義の中に「空気熱」も入れるべきである。	区としては、ご指摘の「空気熱」も再生可能エネルギーの一つに分類されると認識しています。 本計画における地域エネルギーデザイン策定・運用事業では、区内各地域それぞれに適した再生可能エネルギーや未利用エネルギーを検討します。そのため、今回は、注釈中に「空気熱」を含めることは見送らせていただきますが、技術革新等で新たな再生可能エネルギーが出てくる可能性があることから、「等」という文言を追加致します。 なお、本計画における施策や事業については、その効果を検証しながら見直しをして参ります。	0
137	事業者	6.4 取組みの内容 2-1 再生可能エネルギーの導入促進	「再生可能エネルギーを利用するヒートポンプ」というタイトルでコラムを追加すべきである。	コラムについては、本文中の言葉をわかり易く説明するために設けているため、本文中にないヒートポンプについてのコラムの追加は、見送らせていただきますので、ご理解願います。	0

番号	区分	項目	意見概要	考え方	同様意見数
138	在住	6.4 取組みの内容 6-1 オリンピック・パラリンピックに向けた、目に見えて体感できる取組みの推進 38 ヒートアイランド対策の推進	ヒートアイランド対策の推進の具体案がなくわかりにくかった。	ヒートアイランド対策としては、国や都との連携しながら、新築建築物への緑化指導や効果的対策に関する情報提供、助成制度や打ち水イベント等による普及啓発を中心に施策を推進して参ります。 ご指摘を踏まえ、今後もヒートアイランド対策の一層の充実を図って参ります。	0
139	在住	6.4 取組みの内容 7-1 区民に対する温暖化対策行動の普及啓発の推進 41 環境保全意識周知	ちよだ環境カレンダーは知っているが、環境リサイクル祭りがあることは知らなかった。	今後の取組みの着実な推進に努めて参ります。	0
140	在住	7.1 配慮行動指針	微に入り細に入り、細かく提案なされていて感心した。普段から即行動できることが、考えてみたら沢山あった。	配慮行動指針は、省エネ・温暖化配慮行動の目安としてご理解下さい。	0
141	在住	7.1 配慮行動指針	この推奨事例は一見よくまとめられているが、あくまでも「目安」となっており、戸建住宅で若い健康な人を念頭に考えられたものと理解される。実際には、密閉性の高いオール電化マンションであったり、日当たりの状況や幼児や高齢者の有無等によって当てはまらない場合がある。	同上	0